

e - ネットキャラバンについて

平成23年11月24日

総務省
文部科学省

e-ネットキャラバンの概要

子どもたちのインターネットの安全な利用を目的に、インターネットの「影」の部分の存在も理解し適切に対応できるための講座を、情報通信分野等の企業/団体と総務省・文部科学省が協力して開催。同企業/団体は、無償で職員を講師に派遣する等、CSR (Corporate Social Responsibility) 活動として参画。

- 対象者 : 保護者・教職員等。平成23年度から児童・生徒も対象。
- 協力団体 : 通信事業者等民間団体 (205社)、公益法人 (11団体)、
政府・自治体 (2省・17団体)、その他 (38団体)
- 講師 : 認定講師 1,588名 (平成23年10月31日現在)
- 講演内容 : 子どもに迫るネット危機の実態と、その対策方法のためのネット安全教育。
- 開始年度 : 平成18年4月から実施。
- 実績 : 平成18年度 実施件数 453件
: 平成19年度 実施件数 1089件
: 平成20年度 実施件数 1208件
: 平成21年度 実施件数 624件
: 平成22年度 実施件数 557件
: 平成23年度 実施件数 487件

〔 11月以降開催
受付済155件 〕

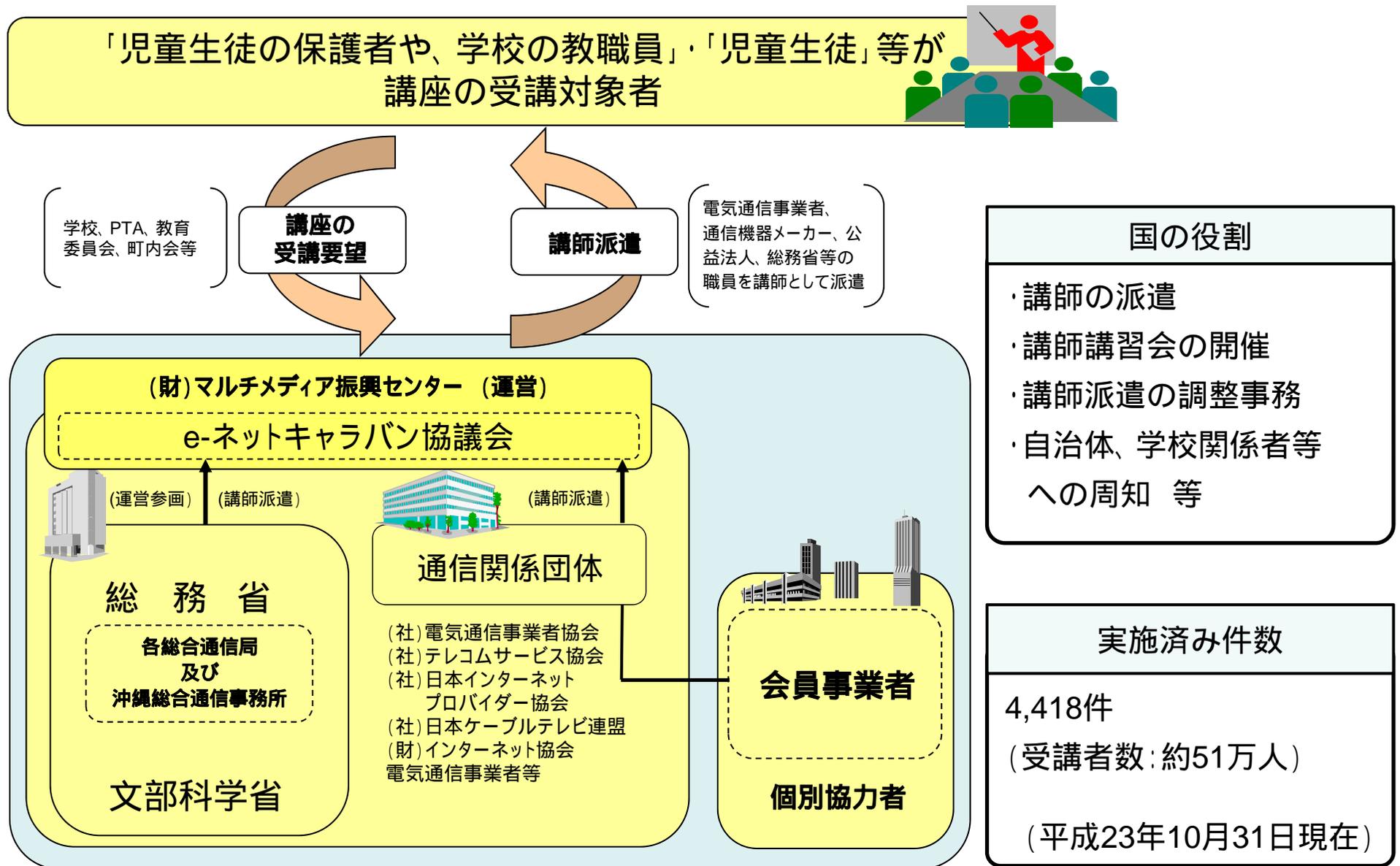


(平成23年10月31日現在)



総務省の広報ビデオ : http://www.soumu.go.jp/menu_00/media/070514_1.html

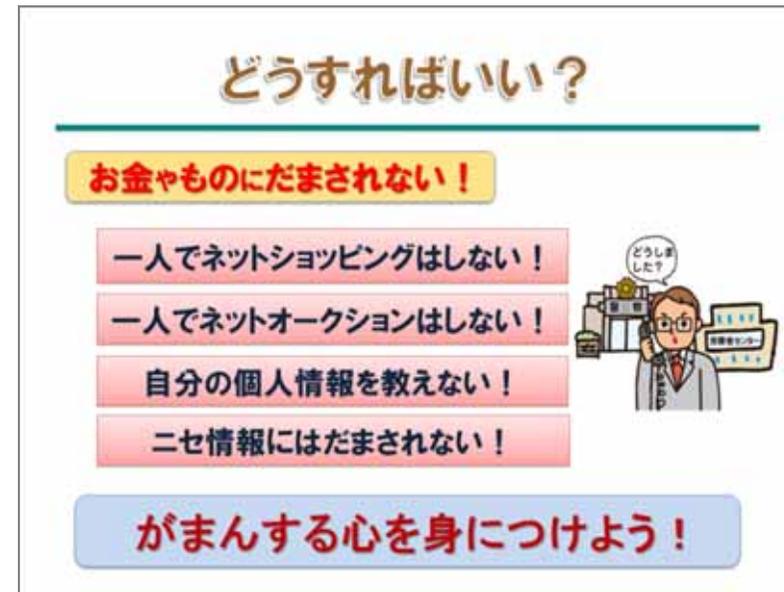
e-ネットキャラバンの推進体制



児童・生徒向け講座の概要

1. 取組内容

e-ネット安心講座の受講者(保護者・教職員)からのニーズに基づき、平成23年度から児童・生徒向けに講座を開始。従来のテキストに加えて、小中学生向け、中高生向けの教材を作成し、各学校からの派遣要請に応じて講座を実施。



2. 児童・生徒向け講座の留意事項

児童生徒の集中力

小学生の集中力の目安: 学年 × 5 ~ 10分。

集中力を欠かさないために

小学生: 質問を多くする。手を挙げさせる。考えさせる。

中学生: 「こんな事を知ってる?」「やったことある?」

と投げかける。

高校生: 事例をたくさん出す。危険性のアピールをする。

講座実施前、学校からの情報収集
携帯所持率、校則、過去に実際に
あったトラブル、NGワード等を聞く。

まずは大切なことから話す

時間配分と集中力の配慮。

スライドの文字は少なく

TV番組のフリップを参考に。

平成23年度の実施状況

1. 実施件数

平成23年10月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
18年度	4	17	34	71	70	22	37	44	43	36	46	29	453
19年度	12	35	98	163	100	64	100	137	106	92	132	50	1,089
20年度	22	47	135	203	145	82	137	168	80	58	87	44	1,208
21年度	8	18	66	108	69	28	65	91	52	32	68	19	624
22年度	17	21	55	95	48	41	56	78	43	24	57	22	557
23年度	13	47	116	148	45	42	76	87	49	19			642

(平成23年度実施済み件数：487 平成23年11月～平成24年1月は申込件数)

2. 平成23年度 実施済み件数(487件)の内訳 (児童・生徒向け講座は平成23年度から開始)

保護者 ・教職員	3	18	55	73	36	14	24						223
児童 ・生徒	10	29	61	75	9	28	52						264

3. 啓発講座実施における課題と対策

アンケート結果によると、受講者の9割以上がインターネットの安全な利用に「役立つ」と回答している。今後の更なる改善、講座の質向上にむけた課題及び対策は以下のとおり。

課題	対策
実際に稼働している講師が不足	・講師講習会の実施
	・通信事業者等、民間団体への協力要請
講座への最新事例の取り込み	・講師向けニュース(メルマガ)での事例配信
	・講座テキストの逐次改定